

研究資料

2冊の『ジャックと豆の木』冒頭部分の読み比べ法の疑問点等 ～中学1・2年生の場合～

大河原 清*・細川 太輔**・荻間澤 勇人***

(2012年3月5日受理)

OOKAWARA Kiyoshi, Daisuke HOSOKAWA, and Hayato KARIMAZAWA

A Method of Comparative Reading on Two Versions of “Jack and the Beanstalk” in Junior High School---
Focusing on questions raised by students

はじめに

同一書名にもかかわらず、内容の若干異なる2冊の本『ジャックと豆の木』の冒頭部分を利用して、中学1・2生を対象に疑問点等を発見する批判的読みを実施した。批判的読みは疑問点・不思議点・矛盾点が多く有る本であり、もう一つの本はそれらの疑問点などの解決版に、ある程度なっている内容の本である。時間が許せば、前者による批判的読みが続いて、後者による解決版を読むことで、比較読みの一連の活動が完結する。

今回は、前者による批判的読みを中心に疑問点などを多数列挙してもらい、後者の解決版の読みは末尾の10分程度で読んでもらった。批判的読みの場合、中学1・2年生では、『ジャックと豆の木』を、中学1年生で習った理科第二分野の植物の成長の知識に基づき、また天や空・雲の上を歩くななど想像できないといった、より現実的・合理的な立場から、さらに度数は少ないものの離婚といった周囲の社会生活的立場から読んでいたことが多かった。

1 研究の経緯・実施日時と対象者

県内A中学校PTA主催において、標記テーマにかかわり演習する機会が2011年11月12日(土)9:00～10:30にあった。受講生は中学1・2年生50名(本調査資料に回答した人数)であった。

2 演習のテーマ

名探偵になって、『ジャックと豆の木』の疑問点・不思議点・矛盾点を見つけよう。

3 手順

最初に個人により、『ジャックと豆の木』の疑問点・不思議点・矛盾点を見つける作業をした。このための時間配分は、個人による文章の読みが約5分、そして個人探偵作業が約15分であった。

続いて、1グループ4人～6人で、各自の見つけた疑問点・不思議点・矛盾点を提示し合い、個人では見つけることができなかった点に気づかせた。各グループは、疑問点・不思議点・矛盾点の中から5点を整理し(できるだけ他のグループが発見できないものを)、A3の5枚の用紙にマジックで記入した(約25分)。

* 岩手大学教育学部附属教育実践総合センター

** 東京学芸大学附属小金井学校

*** 岩手県立盛岡農業高等学校

次に、白板に記述したA3用紙を提示して、グループ対抗による得点化をすることで、競争した(約25分)。9グループを作った。

最後に、解決バージョンの『ジャックと豆の木』を読み、疑問点・不思議点・矛盾点の一つの解決策を読んだ(約10分)。

まとめとして、今回の演習について感想を書いてもらった(約10分)。

4 結果

演習後のアンケート調査結果から述べる。

4-1 読書への興味

「読書に興味をもちましたか」を5段階で聞いた。「5 非常に興味をもちました」が13名(26%)、「4 普段よりも興味を持ちました」が28名(56%)、「3 普通です」が9名(18%)であった。「2 あまり興味をもちませんでした」および「1 全然興味を持ちません」は0名であった。50名中41名の82%が、今回の分析的な読み方に興味を持った。

4-2 普段の読書傾向

「あなたは普段、読書をしますか」では、「5 大変よく読みます」が10名(20%)、「4 普段よりも読むほうです」が5名(10%)、「3 普通です」が18名(36%)、「2 あまり読まないほうです」が10名(20%)、「1 全然読まないです」が7名(14%)であった。普通よりは、良く読むと回答した者が30%であった。この数値は、次に述べる最近読んだ1か月の冊数ともかわり、マンガ本や小説など、どのような種類のものを本とするかともかわり、問いかけが漠然としていたことをお断りしておく。

4-3 最近1か月に読んだ本の冊数

具体的に「最近1か月に読んだ本の冊数を書いてもらった」。人数の多い方からあげると、0冊が9名(18%)、2冊が8名(16%)、1冊が7名(14%)、10冊が6名(12%)、3冊が4名(8%)、

5冊が3名(6%)、4冊が3名(6%)、以下、30冊、25冊、24冊、20冊、18冊、15冊、14冊、11冊、7冊、6冊がそれぞれ1名(2%)であった。

分厚い本なら2~3冊であるとコメントした者もあり、ここでの問いかけでも、本の種類を特定していないために、マンガ本も含まれていることも考えられるため、前述の4-2同様に参考資料である。

4-4 今回の批判的読みの継続的希望について

それでは、今回実施したような批判的読みについての継続の実施についてはどうか。「今回のやり方を続けたいですか」については、「1 はい」と回答した者の人数は44名(88%)、「2 いいえ」と回答した者の人数は5名(10%)、未記入者1名であった。今回の批判的読み方の希望が多いことが分かる。

ただし普段、授業の中で友達と意見を交換して疑問点を探すなどを体験する機会が少ないこともあるので、「1 はい」と回答した者の人数44名(88%)については、今回の演習の真新しさも加わっての数値と解釈するべきであろう。

4-5 演習後日の感想文

後日、演習後に書かれた感想文が送付されてきたので、以下に掲げる。

1) 矛盾点・疑問点を探しながら読むことはあまり無いので、とても新鮮でした。これから読む本でも、批判的読みをして、楽しく、ユニークに、そして読解の力をつけて読めるといいなと思いました。

2) 『ジャックと豆の木』自体、どんな話なのかよく分かっていなかったが、お話を知り、理解すると共に、分析して批判的に読む面白さが分かりました。童話ならではのアバウトな点や矛盾点を突き詰めていくことで、全体がはっきり見えてきて、興味深かったです。他の版やお話も読んでみたいと思いました。

3) たくさんの矛盾点を見つけることができました

た。とても面白くて90分があったという間でした。訳者によって文章が違うところが特に楽しかったです。これから本を読むときも、今日の内容を生かせば、いいなと思います。

4) 一人一人が名探偵になるということで、普段、読まないことが多かったのですが、深く読めば読むほど、いろいろな点を見ることができました。他にも、他のグループの考えを参考にしていきたいです。

5) たくさん矛盾点があったことにとっても驚きました。日本語に訳した人が違うことによって、物語が少し変わってくることも分かりました。これからは1回だけ読むのではなく、いろんな日本語訳のものを読んでみたいと思いました。

6) 誰もが知っている『ジャックと豆の木』でも、色々なバージョンがあって、内容が異なっていることに驚きました。疑問点などを探するのはあら探しをしているようだったけれど、不思議なことがたくさんあって楽しめた。これを機になるべく多くの数やジャンルの本に親しみたい。

7) 『ジャックと豆の木』というとても身近なお話でも、色んなバージョンがあり、内容が違うことに驚きました。また、矛盾点や疑問点を調べることで、もっと深く物語を知ることができると分かったし、実際、とても深くまで読みとれたので、良かった。

8) 本を読むときに、ただ読んで理解しようとするのではなく、フィクションや矛盾を物語だからといって見逃さず、そういうものを突き詰めていくことで、もっと深く考えることができると思った。

9) 本の矛盾を見つけることによって、著者が伝えたかったことをより知りやすくなると思った。ただ、実際の読書のときには、矛盾点を深く考えると、本を楽しめなくなってしまうので、「あっ、ここ、なんかおかしいな」程度で留めて置くこともいいと考えた。

10) 『ジャックと豆の木』の物語を通して、深く理解していく読み方が分かりました。一つ一つの行動や、言葉に注目するというのも楽しいなと思

いました。このように読むことで、詳しく理解することができて、面白かったです。また読んでみたいです。

11) 『ジャックと豆の木』を普段とは違う視点で読むことができて、読み深めることができた。批判的読みはとても面白いということが分かったため、また他の本でもやってみたいです。

12) 『ジャックと豆の木』をいつもと違う視点から読んでみると、たくさんの疑問点や矛盾点が出てきて面白かったです。他の物語でもやってみると楽しいかなと思います。

以上の感想文から、このような批判的な読み方も時々深く読み込むことで楽しい読み方を提供できることを示している。一方、9)「実際の読書のときには、矛盾点を深く考えると、本を楽しめなくなってしまうので、『あっ、ここ、なんかおかしいな』程度で留めて置くこともいいと考えた」のような読み方も大切であることが分かる。このことは、細川・大河原(2012)が小学5年生の実践でも指摘している通りである(同本誌前掲、岩手大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要11号に掲載している)。

4-6 疑問点・不思議点・矛盾点の傾向

以下では、今回の批判的読みについて具体的に列挙してもらった疑問点・不思議点・矛盾点について、表1の通り整理したものについて述べる。必ずしも度数の多いものというよりも、今回の整理を通して、質的に感じたものについて述べることにする。

表1 中学1・2年生50名が抱いた疑問点・不思議点・矛盾点の整理(高校2年生86名の度数とともに)

表1 中学1・2年生50名が抱いた疑問点・不思議点・矛盾点の整理(高校2年生86名の度数とともに)					
整理番号	頁	文章番号	高校2年生86名の度数	中学生50名の度数	備考: 文章番号は『ジャックと豆の木』(三宅忠明 1978)の1文ごとに付与した番号である
★1	p.50	0		1	題名からして、豆って木じゃない
				2	なぜ、「豆」をテーマにしたのか?
				3	挿絵が何か分からない
				4	なぜ「ジャックと豆の木」なのに、おかみさんから始まるのか
				5	昔とはいつの頃か?
				6	なぜ貧しいのか?/どうして貧しいおかみさんなのか?
★7		2	13		父親の死因、どうして死んだのか?
★8		2	1		父親が死んでから何年か?
★9		2		1	なぜお母さんは再婚という考えをせず、ジャックと暮らしていたのか
				10	ジャックの年齢はいくつくらいか?
				11	ミルクホワイトという名前のネーミングセンス
				12	なぜ白乳号(ミルクホワイト)という名をつけたのか?/牛なのに、なぜ「白乳号」という名前なのか?
				13	最初だけ白乳号(振り仮名:ミルクホワイト)と書いている・4行目以下はミルクホワイトし記されている点
				14	雌牛と雄牛の違いは、牛に乳首は何個あるか?
				15	なぜ、雌牛は1頭だけかっていた?
				16	ミルクを出す子牛がいるはず
				17	「ほそぼそと」
				18	どうして貧しいのに、白乳号を飼っていたのか?
				19	ミルクが売っただけで、暮らしていけるのか?
				20	なぜ、牛からたくさんのミルクが出るのか? (ほそぼそと・・・)
				21	ミルクでパンを作っていたのか、それとも売っていたのか
★22		3		4	牛乳は殺菌しないの
				23	一頭の出すミルクだけでは、二人はまかなえない
				24	ミルクホワイトのミルクがいきなり出なくなったこと?
				25	朝にミルクが出なかったのであって、出せなかったのではない
				26	なぜ牛乳が出ていないのか
				27	ミルクを市場へ売りに行けないと、パンを作る金もできないのか?
				28	「パンも作れない」のに、おかみさんはどうやって過ごしていたのか
				29	パンをつくる?/なぜパンが急に出てくるのか?/「パンを作る」なんて、どこにも書いていないはず。
				30	なぜ、拳を握って言う必要があったのか?
				31	p.51 お母さんは、なぜ働かないのか?
				32	ジャックは学校に行っていないのか?
				33	前にジャックのことを雇ったくれる人がいなかったのか?
				34	なぜジャックは雇って貰えなかったのか
				35	ジャックが子どもなら働かせるのは不味いし、成人なら若すぎる、それに母さんが若すぎる
				36	どういう根拠で雇ってくれないと言っているのか
				37	今も「いつかも雇ってもらえない
				38	いつかって、いつだよ。前に何かあったのか?
				39	以前も働きに出た・・・それならば、母は何をしているのか?
				40	「いつかもそうだった」とあるけど、そのときはどうして牛を売らなかったのに、今は売ろうとしているのか?
				41	1回ミルクを出さなくなったただけなのに、どうして直ぐ売りに出してしまうのか?/気が早過ぎ
				42	牛を食料にせず、売ろうとした理由

43		15	1		ミルクーホワイトがどのくらいの値で売れるのか分からないうちに、たった1つの収入源を売ろうと言ったこと
44		15	1	1	ミルクが出ない牛が売れるのか?
45		15	3		牛を一頭売っただけで商売ができるのか?/当時の牛の値段?/牛をたった一頭売っただけで、何かの商売の元手になるのか
46		15		1	何の商売をするのか
47		17	1		市の立つ日ってなに?
48		17		1	市場が立って牛を売りに行く以前にミルクを市場に売りに行っている
49		18	2		母親はジャックに牛を売ってくるように言っているけど、自分でやればいいんじゃないのか?・母が売りに行ったほうが、確実だったのに
50		18	1		子供を一人で行かせる?
51		18	1	6	ぼく(18)、おいら(24)の2つを使い分けている
52		20		1	牛一頭を手綱で連れて行くには無理がある
★53		21	7	12	そもそも老人は何者なのか?
54		21	2		怪しい老人と親しげに話すジャック・ジャックはなぜ老人を疑わないのか?
55		21	2		老人と大男の関係は?
56		21		1	ジャックが貧しいことを知っている
57		21		3	どういう身なり/変わった身なりとは?/老人が変わった身なりをしていたのはなぜか
58	p.52	24	41	27	おじいさんは、どうしてジャックの名前を知っているのか?/人の名前が分かるなんて、老人どこのエキスパート
59		24		1	なぜジャックに?
60		24		1	ジャックは老人に、なんで自分の名前を知っているのか聞かなかったのか
61		24		3	どうして知らない人が自分の名前を知っている理由を尋ねようとしなかったのか/ジャックはなぜ疑問に思ったことを口に出さなかったのか?
62		27		1	肉にして売れば良かった
63		29	15	12	老人の不思議な質問・なんでいきなり豆を五つ持つ方法を尋ねたのか?
64		29	1		老人は最初に5粒の豆を持つには?と聞いたのに、ジャックが受け取った数は、具体的ではないのは、なぜか?
65		31	20	8	なぜジャックは「両手に二つずつと、口に一つくわえる」と答えたのか?・豆を五つ片手で持てないほど大きい豆だったのか?
66		31		2	豆なら片手に持てば/豆は片手に持てばいいだけ
67		31		5	豆の持ち方がおかしい
68		31		1	豆を持つのに、口にくわえる必要は無いと思う
69		34	6	1	5つ持つのに、両手に3つと2つじゃだめなのか
70		34	1		豆に毒が入っているかもしれない
71		35	1	1	めずらしい色をした豆が何色なのか?
72		35	4	5	不思議な豆を、どうして老人が持っていたか?/魔法の豆を持っていたのか?/老人はどうして珍しい豆を5つ持っていたのか
73		35	1		いくつぶかの豆は何粒か?
74		35	3		両手に持ちきれないほどの、豆を入れていた老人のポケットの大きさ・なぜポケットに入ったのか?
75		36	7		老人はなぜジャックが利口ものだと、思ったのか?・大きい豆と想定してか?
76		36	4	3	老人は、なぜジャックの牛と交換しようとしたか?・頼んだ訳でもないのに、老人が牛と豆を『とりかえてやってもいい』と言っていること
77		36		1	なんで利口だと豆がもらえるのか? 豆にどれくらいの価値があるのか?
78	p.53	37			
79		41		1	なぜ、老人は天まで届く豆を持っているのか

80		41		1	天まで届く豆は、なぜ存在したのか?
81		41	4	6	一晩で豆の木が天まで届いたこと
82		41	1	1	老人は、なぜ天まで届く木の豆を知っていたのか?
83		41	2	1	ジャックは天まで登る豆をもらって、どうするつもりだったのだろうか? 天に言っても食べ物があるでもなし。
84		41	1		豆が天まで届くことを、なぜ知っていた? 実際に見たから? なら、少なくとももう1本豆の木があることになるか?
85		41	1	1	天まで届くとは、どこまでか?
86		45	3		老人に取り替えてもらおうと言っているのに、老人の身元や連絡先を聞かないのは、馬鹿でやないのか?
87		45	3		嘘だったら牛を返すと言いながら、正体を明かさないじいさん・口約束だけで、全く返す保証が無い
88		45	1		本当だったら、牛を返すなら、最初からあげれば良いのを、なぜ交換したか?
89		45	1		豆→わしじゃだめか?
90		46		1	ジャックは豆をもらい、天まで伸びた後、どうする気?
91		46		1	市場に牛を売りに行くはずなのに、老人と取引したのか?
92		46		1	牛を売りに行ったのに、なぜ老人と?
93		46	1		「そんなら」?
94		47	2	6	何にもならない豆の木と、牛をなぜ交換したのか? 豆と牛を交換すること・利益になるかも分からないのに、なぜ牛と交換したのか・天に行っても食料があるとは限らないのに、なぜ豆と牛を取り替えたのか? / 老人は牛をどうするつもりなのか/どこに行ったのか
95		47	4		なんで天にまでなる豆だからといって、牛と交換したのか?
96		47		1	老人はなぜジャックに豆を渡したのか
97		47	1		老人の豆と牛との価値観?
98		47	3	3	なぜ初対面の老人の言うことを信じたのか? / ジャックは豆のことを信じているのか? / 市場に牛を一人で売りに行けるレベルの知識を持つジャックが、知らない男の交換要求に応じたのか、普通断らないのか?
99		47	4	1	なぜジャックは簡単に豆と牛を交換したのか・豆を撒いて、木が天まで届いても、お金に変わるものはないのに、ジャックはどうして牛を交換してしまったのか
100		47	1		5つの豆の話なのに、豆を5つくれなかった
101		47		1	老人は、豆を「5つ」持つ方法を尋ねたのに、ジャックにあげたのは「いくつぶかの豆」というように示されている点
102		47		6	老人の居場所が分からないのに、どうやって牛を取り返しに行くのか/どうやって牛を取り返しに行くのか
103		47		1	老人は牛をどうする?
104		49	1	1	53ページでは(49)、「まだ日が高い」と強調していたのに、54ページでは(72)「今夜は、」と、夜になっているのか?
105		51			
106	p.54	52			
107		57	3		なぜポンドを使っているのか?・日本語なのにポンドを使っている所
108		57		3	ポンドでいくら?/日本円でいくらか
109		60	1		そんな豆あったら、自分で使えばいいのに
110		60	1	1	最初は疑っていたのち、家に変えると、魔法の豆だとはっきり言うジャック/前のページではジャックは老人の話の信じてなかったけど?
111		60		1	母に信じたように言っているのに・・・
112		61	1		夜じゃなきゃだめ?
113		61	1		最後まで説明していないのは何で?
114		63	13		母の口調、息子に対する冷たさ・なぜ母親は、こんなにもジャックに厳しいのか?
115		63		1	きょうのきょうまで知らなかったよ
116		65		1	ミルクを出すということは、食肉用ではない
117		65	1	1	ミルク・ホワイトは村で一番ミルクを出すのに、何故、母とジャックは貧しいのか?/本当?
118		65		1	ミルクを出さなくなったのに、村中で一番ミルクを出した
119		65	2	1	牛は一頭しか飼っていないはずなのに、うまい肉ができたのはおかしい/うまい肉の説明がない
120		65	3	1	うまい肉にできたなら、売らずに食べれば良かった
121		65	4	4	どうしてうまい肉にできると知っていたのか/生きているのに、うまい肉とはなぜ言えるのか?

122		65		5	乳牛を食べるのか?/乳牛をなぜ肉牛として売るのだ?/食用ではない
123		65		1	「牛が、あれは村中で一番よくミルクを出したし、うまい肉だってできた」生きているのに、肉がうまいと言えるのか?
124		68		1	牛=豆だったらに、捨てるのはもったいなさすぎる
125		69		1	「ゆうべ」豆は捨てていない
126		69	1	2	豆は、放り投げただけで、育つのか?
127		69		1	豆の飛距離が小さい
128		69	1		窓の外に放り出した豆の数?
129		69	3		どうして母は、豆を投げ捨てたか?
130		69	3	3	食べるものが無いくらい貧しかったら、豆を外に捨てないで食べればよかったのに
131		69		1	豆が全く飛んでいない
132		71		4	まだ日が高いのに、寝させるのがはやい(昼ご飯は?)
133		71	1		牛もいなくなって、お金もないのに、なぜ「とっとと寝ちまえな」なのか?
134		71		4	まだ日は高かったのに「とっとと寝ちまいな」?/なぜ母は寝ろと言ったのか
135		71		3	時間の経過が早すぎる
136		71		1	「日が高い」とあったのに、なぜ「今夜は」と母さんは言っているのか
137		71		1	昼食どこいった
138		72		1	母は「今夜は食べ物をあげない」と言ったのだから、朝ご飯は家で食べればいいのか
139		72		1	なぜ、もともと食べ物が無いのに、「飲ますものも・」とわざわざ強調したのか
140		73			
141	p.55	74			
142		76		1	べったんこになる
143		79		4	目が覚めた/飛び起きた?
144		79		1	ジャックが18~21時間くらい1度も起きずに寝ている
145		80		1	木の陰になっているのに、なぜ光が差し込んでいるのか
146		82	2		なんで窓から外を見るのより先に着替えたのだろうか?・服を着る前に、窓を見ればいいのか
147		82		4	急いでいるのに、服を着替える/窓際に走り寄るだけなら、服を着る必要はない/登る気、満々
148		82	3	14	寝るときにジャックは服をきていないのか?・いつ服を脱いだのか?/なぜジャックは全裸なのか?(寝るとき)/そのうちに眠りこんでしまったのに/さらに服を着たのか
149		83	6	2	「そこで~思う?」「とにかく~わけさ。」の所が、いきなりせりふのようにになっている・ストーリーなのに、「そこで一体、何が見えたと思う?」という読書への問いがある。急なジャック目線。いきなり話口調になったのはなぜか?
★150		84		3	発芽条件、夜である、水が無い
151		84	9	7	どうして豆はたった一晩で急成長したのか?/豆の異常な成長
★152		84		1	豆から木がはえるわけがない(根本的に)
153		84	5		豆の木なのに、なぜ豆ができないか?(この学生は、どこでできないと判断したのか)
154		84	2	1	どうして母が捨てた豆が芽を出したと思ったのか?
★155		84		2	発芽率が低い/水をあげていないのに、なぜいきなり芽を出した
★156		84	1		外に投げただけなのに、豆の木が伸びたこと
157		84		4	1日で蒔いた豆なのに?/豆が一日で育つのは嘘だ、夢
158		84		3	一晩で空までつ、どんだけ?/なぜ1日で天までいけるのか
159		84		1	なんと、タペ...で、天まで届いていることはありえない
160		84	1		豆が天まで育った所で、ジャックはどうするのか?
161		84	1	4	投げた豆の個数と、生えてきた木の数が違う/「いくつぶかの豆」をもらったのに、1つの木しか生えてこない
162		84		7	豆の木の成長に気づかなかった?/母が気づかない
163		84		2	豆をまいて(放り出した)だけで木が育つわけがない/水無しで、土にも植えず、どうやって豆が育つのか?
164	p.56	85	1	1	無駄なかつこつけ「~てわけさ」
165		86		3	豆の木は一本になっているのか/いくつか豆をもらったのに、木は一本しかない/いくつかの豆の木を登れるはずがない
166		86		1	豆は木にならないはず

167		86		1	木になっていない豆は、どこにいったのか
★168		86	1	2	その豆の木は窓のすぐ外に立っている→家に巻きつかないのか?
169		86		8	豆は木じゃない/豆は木になるのか
170		87	1		豆を売るとか、(金にならなくても)育てるという考えは、浮かばなかったのか?
171		87	1	6	ジャックはなんで豆の木に登ろうと思ったのか?/いきなり登りはじめるジャックは一体?
172		87	1	2	天まである木に登ることは不可能/登る体力があったのか
173		88		1	途中でなぜ落ちなかったのか
★174		88		5	空で酸欠になるはず/息ができるのか
★175		88		2	空は寒いはず/ただの服で空高く行ったら・・・
176		88	3	3	天まで来てしまった→上限を何故決めたか? 天とはどこか?/天の位置?
177		88		4	そうですか、とうとう天まで来たんですか/そんなに天は近いのか
178		88		2	人間は天まで行けるものなのか、そもそも天などはない/空中と天との区別が分かる訳がない、まず天は無い
179		88	1	7	天まで登るのに、かかる時間が短かすぎる/どれくらいかかるか不思議/登る時間
★180		88		2	雲の上って落ちないのか?/天になぜ立てるのか?
★181		88	3	3	天に酸素はあるか/酸素不足にならないのか
182		88	9	4	腹が減っていて、誰も雇ってくれないようなひ弱な少年が、なぜ天までよじ登れるのか? 小さい子どもが天まで登れる体力はあるのか?
★183		89		6	天に道と家があって、人がいるはずない/天に道路や家がある/パンやチーズがあるのはおかしい
★184		89	22	14	なんで雲の上(天)に道路や大きな家があるのか?/あるはずがない
185		89		4	豆の木は何本はえたのか?/登れるほど?
★186		89		4	天に道が浮いているのか/天まで言ったのに、なぜ道路があるのか
187		89		3	ふと見ると? 見なくてもあるのでは/目の前にあるのに「ふと」は変
188		90		1	高い塔は誰が作った
189		90		1	高いなら揺れるだけで、上の方は崩れる
★190		90		1	天歩くなよ
191		90	1		天まで届いた所からの高い塔とあるが、先端の高さ?
192		90	1		知らない雲の道を、なぜどんどん進んでいくのか?
★193		90		2	天で歩いている?
194		91	2		天の世界は、なんで巨大な物が多いのか?
195		91	6	2	大きな女の人の正体は?
196		91		2	どうして戸口に女の人が立っていたのか/あり得ない
197		91	1	2	人食い鬼とそのおかみさんは、どうやって天の上に存在しているのか?
198		91	2		おばさん(大きな女の人)は、なぜここにジャックがいるのか、疑問に思わないのか?
199		92		6	なぜ大きな女の人と、ジャックは会話ができるのか
200		92	1	2	ジャックが大きな女の人に対して、恐怖心を持たないのは、なぜか?
201		92	2		なんで大きな女に向かって、丁寧な言葉づかいで言ったのか?
202		94		2	ジャックが何のためらいもなく、大きな女の人に話しかける点/いきなり「朝ご飯を下さい」
203		95	1		昨日の朝から何も食べてないだけでは死なない
204		95		12	ゆうべから? きのうの朝から?
205		99	1		ジャックは帰らせようとしたのに、今まで丸焼きにされてしまった男の子は、どうしておかみさんが帰らせてあげなかったのか?
206	p.57	100		2	ジャックは巨人の腹の足しになるのか
207		100		3	なぜ巨人がいるのか?/人食い鬼、おかみさん
208		100		4	人食い鬼が登場してくる点/どうして天に人食い鬼がいるのか
209		100		1	天まで来た時に、どうして人食い鬼の家しかなかったか
210		100		1	どれくらい、そこに住んでいる人たちは人間と比べ発達しているのか
211		100		1	人を食うことはありえない

212	100		1	女が人食い鬼なら、なぜジャックを食べないのか
213	100		3	ジャックは腹の足しになるのか
214	100	1		人食い鬼と人が一緒に住んでいること
215	100	1		うちの人は人食い鬼で→お前も鬼か?
216	100	2		天に男の子は何人も来ていたのか・天に以前男の子が来たことがあるのか?
217	100	4	4	人食い鬼やおかみさんの食料は、どこから得ているのか?／人をどこで取ってくる
218	100	1		「うちのひとは人食い鬼で男の子の丸焼きほどの好物はない」→今でも食べていたのか? どうやって? 子供をどう集めていたのか?
219	100		1	天に男の子はいるのか
220	100		1	人食い鬼はどうして男の子の丸焼きが好きか
221	100	5	9	人食い鬼は、なぜおかみさんのことは食べないのか?・子は食べるけど、大人は食べないの?／おかみさんは「大きな女の人」だったはず
222	100	1		おかみさんが、もしかして人食いとかジャックは考えないのか?
223	100	1		どうして人を食うのか、なぜそんな男と結婚したのか?
224	100		2	人食い鬼はどうやって人を食べてきたのか
225	100		1	人食い鬼は人ではない
226	100	2		おかみさんは、どうして鬼と知り合いなのか・どうやって女の人は、鬼に仕えたのか
227	100	1		大きな女は、なぜ自分の夫を人食い鬼と言えるのか?
228	100	4	1	人食い鬼は、どこから帰ってくるのか?／どこへ行っているのか
229	100		1	人食い鬼は食糧をどこで手に入れているのか
230	100	1		天には神様がいそうだが、なぜ人食い鬼なのか?
231	100		3	人食い鬼の妻なら、ふつう人を食べるのではないか/大きな女の人はずなぜジャックを食べなかったのか
232	100		3	人食い鬼とおじいさんはグル?
233	101	1		人食い鬼は、なぜ朝食の時間帯に帰ってきたのだろうか?
234	103	1		人食い鬼に食べられるかもしれない状況に居るのに、朝食を求める ジャック
235	108	2	1	悪い女ではなかった・なぜ悪い女だったと決めつけたのか?→何故分かる
236	108		1	大きな女の方は、なぜジャックに警告してくれた良い人なのに、それほど「悪い人」ではないのか
237	108		2	なぜ優しくなったのか?／人食い鬼だといったのになぜ、
238	108	4		人食い鬼のおかみさんが優しい点・心優しいなら、金とかやっ(食べ物)もすぐ帰らせればいいのに
239	109	1		おかみは、何故ジャックだけに情けをかけたのか?
240	109	1	2	天には(人食い鬼の家に)パンやチーズがなぜあるのか?／人食い鬼なのに、なぜパン?／どこから得ているのか?どこで買ったのか
241	109	1		パン、チーズ、ミルク、どれもミルクを使用。初めのミルクを出さなくなったミルクイホホワイトと何か関係が?
242	110	1	3	巨人に出した食事なのに、人食い鬼が来る間に半分くらい食べられたのか?／大きな人たちのパンやチーズは、ジャックのサイズに合うのか
243	110		9	食べ物サイズがあるのか?／ジャックの食べるサイズの食器はあったか/ジャックの腹の足しになるのか
244	111	1	5	自分の家なのに、ぐらぐらする理由／人食い鬼の家なのに、主人が来ただけで揺れて大丈夫なのか?／どうして揺れ始めたのか/どれだけもろい家なのか
		計	401	482

表1の回答状況から、中学生の回答傾向としての読み方の特徴をいくつか述べる事ができる。表1における左端の「整理番号」に基づいて述べる。

1) 中学1・2年生で学習した理科第二分野の知識に基づく読み

整理していて特徴的だった項目は、発芽についての知識の有無である。分析的読みは、一種の問

題解決学習である。問題解決学習には知識の獲得を前提にして、その知識を活用してものごとを吟味するという態度の育成がある。知識が無ければ、問題解決はできないということである。中学生は1年生で獲得した植物についての知識、例えば、種子の発芽条件である、適当な水分・温度・空気（酸素）といった、いわゆる発芽の3条件と呼ばれるものの知識の前提がある。整理番号150「発芽条件、夜である、水が無い」、155「発芽率が低い/水をあげていないのに、なぜいきなり芽を出した」、156「外に投げただけなのに、豆の木が伸びたこと」が、それである。

この発芽の条件を配慮すると、老人からももらった豆が母親によって投げ出されたのは、昼間から夜にかけてである。感覚的には夕方のような感じもする。外にほうり出されたので、土はかぶせられてはいない。季節も不明である。このように見ると、発芽の3条件に基づく判断からは、前日に雨が降り地面が濡れていない限り、発芽を予想するのはいささか困難であろう。

次に、つると木の違いについての指摘である。整理番号1「題名からして豆って木じゃない」、152「豆から木がはえるわけがない」、168「家に巻きつかないのか？」が、それである。ちなみに、書名の場合にも、『ジャックと豆の木』と『ジャックと豆のつる』の2種類がある。

一般には、つるはなにかしらの樹木や支えにからまらなければ、それを伝わって上に伸びることができない。生徒が家からまないのを不思議に思うのは当然かもしれない。ブライアン・ヘイソン監督（2001）の映画（正しくはDVD）『ビーンストーク/ジャックと豆の木』では、複数のつるがお互いにかみあうことで、互いに支え合うようになっているが、実際にはこのようなことが可能であるだろうか。

科学的知識に関連して、整理番号174「空で酸欠になるはず/息ができるのか」、175「空は寒いはず/ただの服で空高く行ったら」を挙げられるであろう。

さらに、整理番号180、183、184に見られる「天

に道と家があって、人がいるはずがない」など、天についての疑問が出されている。

2) 派生する問い

搾乳、殺菌処理の必要性（整理番号22）とその開始時期、機織り、パンの販売。

昔の生活スタイルについての知識はどうか。衣服を綿や蚕から紡いで、糸や布を織るということが、現在では想像できない。食べ物も小麦からパンを作ることも余り考えられないためか、自宅のパン機で作る以外に、現在ではパンは買うものと考えられているためか。

牛乳についての殺菌処理の指摘は、牛乳の保存と流通にかかわるもので、この物語が伝えられてきた時代を考えるために、役立つ問題提起となっている。今回の生徒による問題点の指摘からは、ジャックと豆の木を巡る発展問題として、これを科学的に考察するという立場がでてくる。

3) 社会生活的立場からの問い

離婚と再婚の問題を整理番号9「なぜお母さんは再婚という考えをせず、ジャックと暮らしていたのか」に見ることができる。古代ローマ以前にも夫が無くなれば、再婚が当たり前だったので、これは古くて新しい問題であるだろう。

4) 物語の背景にかかわる事項

一見、本質的な問いに思われないが、実際には、物語全体を貫く内容にかかわる問いがあった。整理番号7/8「父親の死因、どうして死んだのか？」や、53「そもそも老人は何者なのか？」である。この解については、大宮（1977）に詳しい。また、前述したブライアン・ヘイソン監督（2001）の映画では、種子の遺伝子工学的処理など現代的視点から製作されている。

参考文献

細川太輔・大河原清 2012 小学生段階の読書への興味～童話『ジャックと豆の木』の冒頭部分の読みを通して～ 岩手大学教育学部附属教育

- 実践総合センター研究紀要, 11, 149-155
- 三宅忠明 1978 ジャックと豆の木ほか
家の光協会 50-71
- 大宮杉 1977 ジャックとまめの木 日本書房
- 大河原清・荻間澤勇人 2011 読書に興味を持たせるための同じ書名の本の読み比べ法 岩手大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要, 10, 95-137, 現在WEB上 (<http://ir.iwate-u.ac.jp/dspace/bitstream/10140/4202/1/jcrc-n>) にて、演習に使用した『ジャックと豆の木』の冒頭部分を読むことができる。
- DVD ビーンストーク／ジャックと豆の木 ブライアン・ヘイソン監督 2001／アメリカ 日活株式会社（発売元・販売元）189分

謝 辞

本研究資料を作成するに当たり、A中学校のPTAの方々、特にお世話いただきましたご父兄の皆様、ならびにご協力いただきました校長先生はじめ教員の方々、そしてアンケートにご協力いただきました生徒のみなさまに深く感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。